

予算常任委員会

補正予算2,819万円減額を賛成多数で可決

予算常任委員会は本会議から付託を受け12月12日に付託議案審査、16日に各分科会審査報告、同報告に対する質疑、19日に討論・採決が行われた。

■主な歳出

総合行政情報システム管理費	143万円	あきた未来づくり協働プログラム事業費	1,977万円
行政ネットワークのセキュリティ強化。		(仮称)クニマス未来館外構工事費。	
地域総合整備資金貸付金	1億6,800万円	農業基盤整備促進事業費	5,107万円
㈱町家ホテルへの整備資金貸付金。		制度改正による区画拡大、暗渠(あんきよ)排水事業費。	
障がい者支援施設改築事業費補助金	1,133万円	カラ吹き温泉事故による慰謝料	3,000万円
障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」改築事業費補助金。		カラ吹き源泉事故で亡くなった3名の遺族への慰謝料。	
道路改良事業費	940万円	ユネスコ無形文化遺産登録記念番組制作費	54万円
市道大沢田子ノ木線の部分改良工事費。		「角館祭りのやま行事」ユネスコ文化遺産登録記念番組制作費。	

議論のポイント ～予算委員会質疑から～

総合行政情報システム 管理費について

質問 具体的な使途とコンピュータウイルス対策は万全か。

答弁 行政ネットワークのセキュリティを強化するものである。ウイルス対策ソフトを導入し、日々更新・防御しているので障害は発生していない。

未来づくり協働 プログラム事業について

質問 工事請負費の使途は。

答弁 設計の違算があり、来年3月発注予定の外構工事費が不足した部分に充当するものである。

地域総合整備資金 貸付金について

質問 融資条件、経営方針、駐車場はどうなっているか。

答弁 貸付対象事業総額が1千万円以上、契約後5年以内に営業開始、1人以上の雇用創出の3つが要件である。償還は貸付から15年以内。対象事業総額が3億7,900万円である4月

オープン予定。新規雇用は5名、ホテル稼働率は59%を見込んでいるとの事である。駐車場は17台を予定している。食事は提供せず、町家館・飲食施設を活用する。

総合型 地域スポーツクラブの 減額補正について

質問 減額補正に至った要因と今後の見通しについて。

答弁 松木内てくてくクラブは補助事業の要件である有資格のクラブマネージャーを雇用する条件を満たす事が出来なかった。今後は市民が地域で身近に、手軽にスポーツできる環境を整備する目的で、自立に向けた方向性を検討していく。

福祉医療費について

質問 これまでの実績値と制度拡充の方針について。

答弁 今年度は、乳児・小学生4,200万円、1人親世帯1,080万円、高齢者身体障がい者3,640万円、重度心身高齢者1億3,550万円、市単独

分76万5千円で合計2億2,546万5千円以内と見込んでいる。対象人数は、3,945人である。
県内4自治体が18歳までの医療費助成を行っている。当市で行うとすれば約1,500万円が必要となる試算である。県の助成制度との調整を図り、今後検討してまいりたい。

反対討論

あきた未来づくりプログラム事業の予算措置が不明確、不明瞭である。放課後児童クラブ対策事業費は放課後児童クラブに通う角館小学校1年生のみにスマイルバスを利用させる予算である。しかし、2年生から6年生まではこれまで通り、冬期間積雪・凍結した狭い内川橋の歩道を渡らせることには交通事故の危険が伴う。支援員は引率しているが、事故の危険性を考えれば、今回の補正予算には反対する。

採決

賛成多数により
補正予算案は可決
された。